

開放講座

秋 学 期 開 講 科 目

2023年度

[illegible]

科目一覧(ジャンル別)

言語

講義 番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集 人数	キャン パス
3	言語・文化と教育入門	第二言語習得・応用心理言語学	藤田賢	秋	火	2	4	日進
5	ドイツ語Ⅳ(表現)	ドイツ語会話の基礎を学ぶ	三宅恭子	秋	火	3	1	日進
7	Business English b	国際ビジネスと異文化理解	道添栄一	秋	火	3	4	日進
11	英語研究特講Ⅰb	言語とコミュニケーションの仕組み	前田満	秋	金	3	5	日進

宗教

講義 番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集 人数	キャン パス
13	宗教社会学Ⅱ	現代日本における宗教と社会	熊田一雄	秋	月	2	9	日進
15	宗教文化史Ⅱ	神話の世界へようこそ②	小林奈央子	秋	月	3	2	日進
17	宗教社会学Ⅱ	個人にとっての宗教、超常現象・陰謀論への接近	伊藤雅之	秋	火	4	9	日進
19	禅宗史Ⅱ	中国禅宗と日本禅宗	横山龍顯	秋	水	1	5	日進
22	禅の思想Ⅰ－Ⅱ	道元の伝記『三大尊行状記』を読む	横山龍顯	秋	木	1	2	日進
24	仏教と文化Ⅱ	無宗教日本の葬式仏教	木村文輝	秋	木	1	14	日進
28	宗教教理学Ⅱ	古典ヨーガから「自分探し」のスピリチュアリティまでの展開	伊藤雅之	秋	木	3	7	日進
30	宗教心理学Ⅱ	現代日本の宗教心理複合運動	熊田一雄	秋	木	3	9	日進
32	現代社会と宗教Ⅱ	宗教共同体とユダヤ・キリスト教文化	伊藤雅之	秋	金	2	2	日進
34	宗教心理学Ⅱ	マインドフルネス・ムーブメントの展開	伊藤雅之	秋	金	3	6	日進

文化・歴史

講義 番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集 人数	キャン パス
38	古文書学Ⅱ	近世古文書解読入門	中川すがね	秋	月	4	7	日進
40	日本の思想Ⅱ	日本思想史(近世中期から近代まで)	下川玲子	秋	火	2	5	日進
42	日本史特殊研究A-Ⅱ	続・絵巻物に歴史を読む	松蘭斉	秋	火	2	4	日進
44	古典文学研究Ⅱ	王朝の和歌を読む	川名淳子	秋	火	2	2	日進
48	日本の近代文学Ⅱ	大正期以降の小説表現史	吉田遼人	秋	火	3	9	日進
49	東洋史特殊研究A-Ⅱ	北魏の歴史	松下憲一	秋	火	3	8	日進
51	仏教と芸術Ⅱ	「法界仏像」から読み解く仏教的世界観	高橋早紀子	秋	水	1	6	日進
52	アジアのなかの日本文化Ⅱ	漢字・漢文・漢学の日本文化への影響	小崎智則	秋	水	1	6	日進
55	日本民俗学Ⅱ	日本の口承文芸や俗信を考える。	蛸島直	秋	水	2	3	日進
58	書道文化5Ⅱ	隷書の古典を学ぶ(漢代を中心に)	明園劉作勝	秋	水	2	4	日進
61	日本の思想Ⅱ	廃仏毀釈から象徴天皇制へ	林淳	秋	水	2	8	日進
63	言語学Ⅱ	社会言語学・方言学の基礎	三木理	秋	水	3	5	日進
65	書道文化4Ⅱ	水墨画の学習	明園劉作勝	秋	水	3	1	日進
67	イギリス文学研究b	イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化(19世紀以降)	星久美子	秋	木	1	1	日進
69	言語と文化Ⅱ	日本語の語彙(ケーススタディ)	三木理	秋	木	4	5	日進
71	アメリカ文化特講Ⅰb	20世紀以降の「アジア系」アメリカ人のコミュニティ	高木真理子	秋	金	2	4	日進
74	大衆文化論	ブロードウェイミュージカル:アメリカ社会を映し出す鏡	松崎博	秋	金	4	3	日進

心理

講義 番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集 人数	キャン パス
75	スポーツ心理学	「身体活動」と「こころ」の相互作用を知る	石田光男	秋	月	3	12	日進

経済

講義 番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集 人数	キャン パス
78	マクロ経済学Ⅱ	経済学応用理論	吉田雅彦	秋	月	3	1	名城 公園
80	マクロ経済学Ⅱ	経済社会全体の枠組み・仕組みを さらに広げて学ぶ	宮原正人	秋	月	3	3	名城 公園
82	マクロ経済学Ⅱ	経済学の「森」全体を鳥瞰する	渡邊隆俊	秋	月	3	3	名城 公園
84	ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学の基礎から学ぼう	王嘉陽	秋	火	4	3	名城 公園
86	ミクロ経済学Ⅱ	経済学の基礎	岡谷良二	秋	火	4	3	名城 公園
88	ミクロ経済学Ⅱ	生産者と消費者の行動分析の基 礎	三好向洋	秋	火	4	2	名城 公園

その他

講義 番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集 人数	キャン パス
91	産官学連携講座Ⅱ	観光政策論と持続可能な観光	松岡昌幸	秋	火	2	9	日進
92	英語研究特講Ⅱb	非言語コミュニケーションの役割につ いて考える	野口朋香	秋	水	1	4	日進

講義概要(シラバス)

 マークがある科目はパソコン、Microsoft Teams、WebCampusの利用方法について確認してください。

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
3	秋	言語	言語・文化と教育入門		藤田 賢	火	2	4
【副題】 第二言語習得・応用心理言語学						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 第二言語習得研究から外国語学習・外国語教育の在り方について考えます。特に、人間はどのように言語を習得するか、母語と第二言語の関係はどのようにになっているか、第二言語習得の認知メカニズム、動機づけなどについて学びます。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 課題・レポート等の配信。授業欠席時の録画配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
5	秋	言語	ドイツ語Ⅳ(表現)		三宅恭子	火	3	1
【副題】 ドイツ語会話の基礎を学ぶ						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 「習うドイツ語」から「使うドイツ語」を指向します。生きたドイツ語に実践的に対応できるように運用能力を養成します。各回の授業ではドイツ語圏の文化や生活など、ドイツ事情に関する会話を中心にドイツ語の会話力を高めます。あわせてドイツおよびヨーロッパに対する理解を深めます。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
7	秋	言語	Business English b		道添栄一	火	3	4
【副題】 国際ビジネスと異文化理解						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 本講では、教科書でビジネス、文化等に関する記事をまず読みます。CDを聴きながら、国際ビジネスマナー、異文化理解等基本的な英語読解力、単語力、思考力を身につけることを目指すとともに、対話を通じて実用性の高いビジネス英会話の練習をします。中級レベルの内容です。予習を前提に授業を進めます。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
11	秋	言語	英語研究特講 I b		前田満	金	3	5
【副題】 言語とコミュニケーションの仕組み						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】								
学期の授業では、私たちの日常的なコミュニケーション活動と社会における言語の働きについて考えます。コミュニケーションはよく単なる情報のやりとりだと言われますが、これはあまりにも単純な見方です。人と人がことばを交わすとき、私たちは無意識のうちにとっても多くの判断を同時にしかも瞬時に行なっています。また、会話をするさいの暗黙のルールがいくつもあります。さらに、実際に言われたことに加え、会話の含みのように本当は何も言っていないのに相手に伝わるメッセージもあります。この授業では、記号としての言語の働きやコンテキストの重要性、そして言語の社会行動的側面に留意し、コミュニケーションの仕組みを明らかにします。また、この授業では、英語におけるコミュニケーションのあり方にも光をあて、日本語のコミュニケーションとの類似点と違いを浮き彫りにします。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】								
講義資料の配信。								
【WebCampusの利用方法】								
講義資料の配信。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
13	秋	宗教	宗教社会学Ⅱ		熊田一雄	月	2	9
【副題】 現代日本における宗教と社会						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 現代日本における宗教と社会の関係を概説する。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
15	秋	宗教	宗教文化史Ⅱ		小林奈央子	月	3	2
【副題】 神話の世界へようこそ②						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 春学期（Ⅰ）に続く、世界各地の神話の特色について学ぶ授業です。本授業では、春学期（Ⅰ）では扱わなかった、北ヨーロッパ、アジア、北米・南米、オセアニア、アフリカなど幅広い地域の神話を取り上げ、神話自体の内容はもちろんのこと、神話と結びついた芸術や祭礼など、神話をめぐる周辺文化についても学びます。 一般学生には学期中に1，2回Teamsを通して課題を出しているが、利用されない開放講座の方へは個別に対応します。								
【パソコンの利用方法】 オフィスアプリケーション（Word、Excel等）の利用。Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 課題・レポート等の配信。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
17	秋	宗教	宗教社会学Ⅱ		伊藤雅之	火	4	9
【副題】 個人にとっての宗教、超常現象・陰謀論への接近						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 そもそも宗教とは何であり、それは私たちの日常生活にどのように影響しているのだろうか。世界各地に広がる宗教はその時代の経済、政治、社会、文化とどのような関係をもつのだろうか。この授業では、社会学的視点からのアプローチをもちいながら、宗教が社会のなかで果たしている役割について考えてみたい。秋学期は、個人にとっての宗教、および超常現象・陰謀論を2つの大きなテーマとして、具体的事例を織り交ぜながら検討していく。 配布資料は印刷して授業中に配布しますので、Teamsの使用は任意となります。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
19	秋	宗教	禅宗史Ⅱ		横山龍顯	水	1	5
【副題】 中国禅宗と日本禅宗						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 北宋代から南宋代にかけての中国禅宗の動向および鎌倉時代における日本への禅宗の移入について講義します。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。								
【WebCampusの利用方法】 講義資料の配信。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
22	秋	宗教	禅の思想Ⅰ－Ⅱ		横山龍顯	木	1	2
【副題】 道元の伝記『三大尊行状記』を読む						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 道元の伝記資料『三大尊行状記』を講読します。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。								
【WebCampusの利用方法】 講義資料の配信。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
24	秋	宗教	仏教と文化Ⅱ		木村文輝	木	1	14
【副題】 無宗教日本の葬式仏教						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 本講義では、多くの人々が自らのことを「無宗教」と言いながら、その一方で宗教的な事柄に関わっている現代日本の状況を読み解きます。具体的には、明治維新以来の日本における仏教を中心とする宗教史を概観するとともに、現代日本人の「無宗教」意識、「ほどけ」という語にこめられた意味、仏教からみた「尊厳」、葬式仏教の意義と状況などを考察します。テキストには木村文輝著『仏法僧の現在』（八千代出版）を用います。また、本講義は一方的な知識の伝達ではありません。授業の中では、出席者からの意見表明も歓迎したいと思います。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。								
【WebCampusの利用方法】 受講生への必要情報の伝達。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
28	秋	宗教	宗教教理学Ⅱ		伊藤雅之	木	3	7
【副題】 古典ヨーガから「自分探し」のスピリチュアリティまでの展開						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 宗教の教えや実践は人間の精神活動にどのような影響を与えてきたのだろうか。この講義では、宗教の世界観をわたしたちの社会実践に応用しながら考察する。秋学期は、ヨーガを主な題材として、古典ヨーガの思想から20世紀に発達した現代体操ヨーガ、さらには「自分探し」のスピリチュアリティまでを具体例を織り交ぜながら検討していく。 資料は印刷して授業中に配布しますので、Teamsの使用は任意となります。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
30	秋	宗教	宗教心理学Ⅱ		熊田一雄	木	3	9
【副題】 現代日本の宗教心理複合運動						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 現代日本における宗教と心理療法の相互乗り入れを扱う。秋学期は、依存症(アディクション)から「回復」するために患者たちが支え合う「自助グループ」を多角的に検討する。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
32	秋	宗教	現代社会と宗教Ⅱ		伊藤雅之	金	2	2
【副題】 宗教共同体とユダヤ・キリスト教文化						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 この講義では、わたしたちのものの見方や考え方、感じ方の基盤となるような幅広い現象を宗教文化と捉え、その具体的な内容を検討する。そして受講生たちが身近な文化現象の背後にある(広義の)宗教への理解を深めていくことを目的とする。秋学期は、人々の幸福と宗教共同体との関係、および欧米の価値観の基盤となっているユダヤ・キリスト教文化の特徴について概観する。 資料は印刷して授業中に配布しますので、Teamsの使用は任意となります。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
34	秋	宗教	宗教心理学Ⅱ		伊藤雅之	金	3	6
【副題】 マインドフルネス・ムーブメントの展開						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 宗教は、私たちの心のあり方をどのように捉え、その教えや実践は人間の精神活動にいかなる影響を与えてきたのだろうか。20世紀以降に発達した心理学や精神医学は宗教伝統とどのような関係にあるのか。秋学期は、21世紀に入ってから発達したマインドフルネス・ムーブメントとそれ以前のヨーガ、禅などの瞑想との共通点や相違点に関して、具体例を織り交ぜながら検討する。 資料は印刷して授業中に配布しますので、Teamsの使用は任意となります。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
38	秋	文化・歴史	古文書学Ⅱ		中川すがね	月	4	7
【副題】 近世古文書解読入門						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 日本近世の古文書を読み解読するための全くの初心者のための授業です。パワーポイントを使用し、かんたんな古文書のテキストを読んでいきます。変体仮名や異体字、近世の度量衡なども学びます。 教科書として 林英夫監修・若尾俊平ほか編『増訂 近世古文書解読字典』柏書房 を使用します。ご用意ください。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員 への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
40	秋	文化・歴史	日本の思想Ⅱ		下川玲子	火	2	5
【副題】 日本思想史(近世中期から近代まで)						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 「日本の思想Ⅰ」に引き続き、日本の近世中後期から近代までの思想を扱う。江戸中期には朱子学批判が生じるが、儒教における批判者である伊藤仁斎や荻生徂徠の思想、儒教そのものを否定した本居宣長や平田篤胤の国学思想などを読解する。幕末には尊王攘夷思想が起こるが、明治期になり西洋思想を前端的に受容することになる。この時期の思想家として、福沢諭吉・中江兆民・幸徳秋水などを扱う。テキストはプリントを使用する。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
42	秋	文化・歴史	日本史特殊研究A-Ⅱ		松園 齊	火	2	4
【副題】 続・絵巻物に歴史を読む						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 絵巻物を中世文化の一つとしてその文化史的特色を考察していく。特に中世社会において、絵巻物がどのような機能を持っていたかをさまざまな絵巻物を紹介しながら考えていく。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
44	秋	文化・歴史	古典文学研究Ⅱ		川名 淳子	火	2	2
【副題】 王朝の和歌を読む						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 本講座では、『小倉百人一首』でよく知られた和歌を中心に読み解く。恋愛や別れの歌、人生の述懐歌、季節のうつろいを描いた歌など、人の〈こころ〉が生み出した珠玉の〈ことば〉を読み味わう。あわせて歌人にまつわる興味深いエピソードや伝説もたどってゆく。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
48	秋	文化・歴史	日本の近代文学Ⅱ		吉田遼人	火	3	9
【副題】 大正期以降の小説表現史						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 明治40年前後、日本の近代文学は確立期を迎えるに至りました。しかしながら、その事実は、〈小説〉をいかに書くかという問題が解消されたことを意味しません。大正、昭和と時代が推移しても、〈小説〉表現は新しい感性によって模索され続け、その問題意識は現代文学の担い手たちにもなお抱かれています。本講義では、その具体的な諸相について、大正期以降の文学史を彩る文豪の足跡や現代作家の活躍に目を向けながら考えてゆきます。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
49	秋	文化・歴史	東洋史特殊研究A-II		松下憲一	火	3	8
【副題】 北魏の歴史						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 3世紀から6世紀に活動した北方遊牧民の鮮卑拓跋部の歴史について学ぶ講座								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
51	秋	文化・歴史	仏教と芸術Ⅱ		高橋早紀子	水	1	6
【副題】「法界仏像」から読み解く仏教的世界観						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 全身に世界の諸形象を表現した「法界仏像」と称される特殊な如来像が存在します。この「法界仏像」の作例を取り上げて図像の意味や変遷を分析し、仏教的世界観を読み解きます。講義では、パワーポイントを用いて多くの絵画や彫刻の画像を提示し、適宜レジュメを配布します。また、学生を中心としたグループワークや美術館・博物館の見学会等も行う予定です。 授業ではTeamsを併用しますが、PCやTeamsが使えなくても聴講可能です。本講義には学生を中心としたグループワーク(2回分を予定)や美術館・博物館の見学会(1回分を別日に振替予定)等が含まれます。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。課題・レポート等の配信。リアルタイム配信およびチャットによる発言。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
52	秋	文化・歴史	アジアのなかの日本文化Ⅱ		小崎智則	水	1	6
【副題】 漢字・漢文・漢学の日本文化への影響						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 日本文化に対して、歴史的にとりわけ大きな影響を与えているのが中国の文化です。中国の文化は、外交使節や留学僧、貿易を通して直接に、あるいは朝鮮半島を経由して、漢籍と共に日本に伝わり、様々な形で現在に受け継がれています。インド発祥の仏教でさえ、少なからず中国文化のフィルターを透過して日本に到達しています。本講義では、そうした中国の漢字や漢文の世界が、どのように日本の言語・文学・思想に受容されてきたのかを概観したいと思います。なお、教材はプリントを配布します。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
55	秋	文化・歴史	日本民俗学Ⅱ		蛸島直	水	2	3
【副題】 日本の口承文芸や俗信を考える。						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 日本民俗学の幅広い研究対象のうち、口承文芸(昔話・伝説・都市伝説など)や俗信・民間知識を主たる対象に、その成立背景や法則性を考える。なにげなく語られる伝承や在来知の意味や背景を読み解こうとする姿勢や力を養いたい。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
58	秋	文化・歴史	書道文化Ⅱ		明園劉作勝	水	2	4
【副題】 隷書の古典を学ぶ(漢代を中心に)						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 石刻・木簡隷書の歴史的 position を理解し、隷書の書風の多様性について学ぶ。古典の臨書により、隷書の用筆・運筆法や結構法を理解し、表現技法の幅をもたせる。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
61	秋	文化・歴史	日本の思想Ⅱ		林 淳	水	2	8
【副題】 廃仏毀釈から象徴天皇制へ						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 1890年の教育勅語によって天皇を崇敬する儀式が学校で実施されて、天皇が国民統合の機能を担った。1946年に公布された日本国憲法では天皇は象徴として位置づけられ今にいたる。明治維新から現代にいたる歴史において、国家と天皇と宗教がどのような関係にあったのかを考察する。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
63	秋	文化・歴史	言語学Ⅱ		三木理	水	3	5
【副題】 社会言語学・方言学の基礎						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 社会言語学の基礎的な事項について学ぶこと、また言語を社会との関係で観察する観点を養うことを目的とします。言語は実際には、その運用される状況(話者の属性、使用場面等)によって多様性を伴い、様々な形で運用されます。この授業では特に言語の多様性という側面について、日常的な言語使用の具体的事例を通して言語を観察する方法を紹介したいと思います。 授業資料や課題を、印刷物として配布することは原則としてありません。事前のガイダンス等において、Microsoft Teamsの操作への習熟をお願いいたします。学期中は、大学のサポートデスクもご活用ください。(Teamsに関して、教師と学生とでは画面や操作法が異なる場合があるため、皆さんの質問に対して十分に対応できない場合があります。どうかご了承ください。)								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。課題・レポート等の配信。授業欠席時の録画配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
65	秋	文化・歴史	書道文化4Ⅱ		明園劉作勝	水	3	1
【副題】 水墨画の学習						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 「書画同源・書画一致」の観点に立ち、「書」の技法を活かして絵を描く。また、絵の表現を書に還元することもできるということを、実際の作品づくりを通して学ぶ。毛筆の線による形態の簡化要約、墨の濃淡潤渴による作品表現ができるように指導する。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
67	秋	文化・歴史	イギリス文学研究b		星久美子	木	1	1
【副題】 イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化(19世紀以降)						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 この授業では、19世紀、とくにヴィクトリア朝から現代に至るイギリスおよびイギリス以外の英語圏の文学を概観し、各時代を代表する作品について作者の生涯、あらすじ、登場人物の描写、英語表現、主題・技法、歴史的・社会的・文化的背景などについて学びます。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
69	秋	文化・歴史	言語と文化Ⅱ		三木理	木	4	5
【副題】 日本語の語彙(ケーススタディ)						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】								
「言語と文化Ⅰ」で学んだことを基礎として、日本語の語彙について更に深く学び、理解を深めることを目的とします。具体的な事例(地名、人名等)を採り上げ、その特徴などについて考察していくつもりです。また、折に触れて他言語の事例を紹介したり、他分野からの視点を紹介する機会もあるかと思っています。語彙(単語)に関する「豆知識」を増やしていくことよりも、学術的に考察することのおもしろさを味わいたい皆さんの聴講を歓迎します。 授業資料や課題を、印刷物として配布することは原則としてありません。事前のガイダンス等において、Microsoft Teamsの操作への習熟をお願いいたします。学期中は、大学のサポートデスクもご活用ください。(Teamsに関して、教師と学生とでは画面や操作法が異なる場合があるため、皆さんの質問に対して十分に対応できない場合があります。どうかご了承ください。)								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。授業欠席時の録画配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampusの利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
71	秋	文化・歴史	アメリカ文化特講Ⅰb		高木真理子	金	2	4
【副題】 20世紀以降の「アジア系」アメリカ人のコミュニティ						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 アメリカにおける日系、中国系、フィリピン系などの戦前の移民の経験を理解し、資料(日本語、英語)を読み解きながら、第二次大戦中・戦後そして最近までの各アジア系コミュニティの経験を概観する。移民母国とアメリカとの関係やアメリカにおける偏見との戦いを学び、特に日系への偏見・差別そして日米戦争中の強制収容について注目し、日本に住む私たちがそこから学ぶべきことは何かを探りたい。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampusの利用方法】 課題コメントの提出。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
74	秋	文化・歴史	大衆文化論		松崎博	金	4	3
【副題】 ブロードウェイミュージカル:アメリカ社会を映し出す鏡						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 ブロードウェイミュージカルを素材に、アメリカ社会と大衆文化の見解を検討します。劇団四季の公演でもおなじみの『コーラスライン』、名古屋にゆかりのある『王様と私』、大人気ミュージカル『レント』他を取り上げる予定です。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampusの利用方法】 レポート課題登録。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
75	秋	心理	スポーツ心理学		石田光男	月	3	12
【副題】「身体活動」と「こころ」の相互作用を知る						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 スポーツ心理学とは、運動パフォーマンスに伴う情報処理過程、心理的コンディショニング、スポーツ活動によるメンタルヘルスなどを対象とする応用的な心理学分野の一つとして位置づけられます。本講義では、実験心理学的見地から、情動と運動、運動学習と運動制御、運動に寄与する知覚情報処理のプロセスを解説します。また身体活動によって得られる様々な心の健康維持機能についても紹介します。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
78	秋	経済	マクロ経済学Ⅱ		吉田雅彦	月	3	1
【副題】 経済学応用理論						開講キャンパス		
						名城公園		
【講義内容】 マクロ経済学における失業と労働市場，インフレとデフレ，為替レートと国際マクロ経済学について理論的に学びます。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。								
【WebCampusの利用方法】 レポート課題登録。								

講義 番号 80	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
	秋	経済	マクロ経済学Ⅱ		宮原正人	月	3	3
	【副題】 経済社会全体の枠組み・仕組みをさらに広げて学ぶ						開講キャンパス	
							名城公園	
	【講義内容】 春学期のマクロ経済学Ⅰに続き、よりいっそう詳しく経済社会全体の枠組みを学習します。国内部門のマクロ経済学の市場のうち、春学期には実物市場(財市場)を中心に学習しましたが、ここでは、残りの貨幣市場や労働市場を含めて学習していきます。また、可能であるならば、海外部門との関連も考慮できるように学んでいきます。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
82	秋	経済	マクロ経済学Ⅱ		渡邊隆俊	月	3	3
【副題】 経済学の「森」全体を鳥瞰する						開講キャンパス		
						名城公園		
【講義内容】 「マクロ経済学Ⅰ」は、いわゆる財市場(生産物市場または実物市場)を中心にして学習しました。この「マクロ経済学Ⅱ」では、まずは閉鎖体系を前提として、貨幣市場と労働市場を組み入れて、三市場の同時均衡点を求めます。そこで、金融市場の分析、IS=LM分析、総需要曲線、総供給曲線について論じます。さらに、海外との関係をも考慮した、開放体系のオープンマクロと呼ばれる分野についても学びます。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
84	秋	経済	ミクロ経済学Ⅱ		王嘉陽	火	4	3
【副題】 ミクロ経済学の基礎から学ぼう						開講キャンパス		
						名城公園		
【講義内容】 この授業では、経済学の基本的な単位である消費者と生産者について学習する。消費者については、複数の財の選択を理論的に分析する方法を学習する。生産者については、生産費用の構造について、経済学でよく用いられる理論を学習する。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
86	秋	経済	ミクロ経済学Ⅱ		岡谷良二	火	4	3
【副題】 経済学の基礎						開講キャンパス		
						名城公園		
【講義内容】 この授業では、経済学の基本的な単位である消費者と生産者について学習する。消費者については、複数の財の選択を理論的に分析する方法を学習する。生産者については、生産費用の構造について、経済学でよく用いられる理論を学習する。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。								
【WebCampusの利用方法】 講義資料の配信。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
88	秋	経済	ミクロ経済学Ⅱ		三好向洋	火	4	2
【副題】 生産者と消費者の行動分析の基礎						開講キャンパス		
						名城公園		
【講義内容】 ミクロ経済学Ⅰで学んだ需要曲線と供給曲線の背景となる理論について概説する 微分などの初歩的な数学を用いる								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 課題・レポート等の配信。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
91	秋	その他	産官学連携講座Ⅱ		松岡昌幸	火	2	9
【副題】 観光政策論と持続可能な観光						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 秋期の授業では観光政策に着目し、観光まちづくりに必要な基礎的な知識や汎用的技能を身に付ける。また、日進市が推進する「ぐるぐる日進」にも触れ、観光政策に関する実践的かつ実務的な知識を修得する。さらに、社会学、宗教学、経済学、民俗学、英語教育、ホスピタリティ・マネジメント等の視点から、日進市で有効な観光政策(観光SDGs)を考察する。講師陣は日進観光まちづくり協会職員、大学講師の混合によるオムニバス形式の連携講座で、当授業における優秀者には(春・秋通年)、日進市から「観光SDGs修了認定書」が授与される(予定) 対面授業のみ開講(オンライン授業は実施しない)								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 授業では使用しない。								
【WebCampusの利用方法】 授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
92	秋	その他	英語研究特講Ⅱb		野口朋香	水	1	4
【副題】 非言語コミュニケーションの役割について考える						開講キャンパス		
						日進		
【講義内容】 この授業では、文化をノンバーバル・コミュニケーション(非言語)の見地から考えていきます。日米での非言語行動を比較しながら、私達が意識的・無意識的に行うコミュニケーションのプロセスで、非言語コミュニケーションが人間関係のなかでどのような役割を果たしているかについて考察します。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】 講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampusの利用方法】 レポート課題登録。								